地域別重点施策に係る施策取組状況評価

【県南地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
地域の特性を生かした活力ある産業の振興 首都圏との隣接性や恵まれた交通アクセスなどの地域の強みを生かした産業集積により県内製造業の中核地域を目指すとともに、地域資源を最大限に活用した農林業の振興を目指します。	①　優良企業の誘致を進めるとともに、県南地域の核である白河市の中心市街地活性化を支援し地域経済力を高めながら、新卒者の定着率の向上やUターンの拡大を図ります。	◆優良企業の新規立地の伸び悩み。	◆市町村と連携しながら地域の優位性を生かした企業誘致を推進するとともに、立地企業訪問を積極的に実施し更なるフォローアップの強化を図る。
	②　企業間ネットワークの構築による、効果的・効率的な物流や共同研究などの取組みを支援するとともに、ハイテクプラザなど試験研究機関や大学等、さらには民間の産業支援組織などとの連携により、地域一体となって活力ある産業基盤の形成を進めます。	◆地域内における企業間ネットワークの確立。	◆試験研究機関や大学等と連携した技術支援により企業の高度化を図るとともに、企業間ネットワークの形成を促進するための研修会等を積極的に展開する。
	③　活力ある地域経済を支えるため、地域連携の軸となる国道289号、国道294号、国道349号などの幹線道路の整備を推進します。	◆隣接する他地域との連携に欠かせない大型車も含めた自動車の安全で快適な道路交通の確保。	◆地域連携の軸となる広域的道路網を計画的に整備し、物流・観光交流の促進を図る。
	④　農林業生産の拡大を進めるため、夏も冷涼な西白河地方から冬でも温暖な東白川地方まで農産物生産に適した恵まれた自然環境と大消費地に隣接した地域優位性を最大限に活用しながら、新たな産地づくりや、企業などとの農商工連携による新商品開発や販売チャンネルの構築、環境と共生する農業や木質バイオマスの利用促進など、時代潮流に合った新たな農林業の展開を図ります。	◆県産農産物の知名度向上及び自給力向上。 ◆生活圏や県域を越えた販売チャンネルの確保、多様な需要に対応した分荷、配送機能の確保。	◆新たに設定した「ふくしまの恵みイレブン」を中心とした重点品目の生産体制強化と木質バイオマスの利用促進等により農林業の振興を図る。 ◆地域産業6次化ネットワーク等により、多様な主体と連携した商品づくり、販売チャンネルづくりを進める。
地域の持続可能な発展を担い、自らの手で地域を牽引できる人づくり 活力ある地域産業の発展に不可欠な高度の技術を有する人材を確保しながら、地域の将来を自らの手で切り開いていく次代の担い手づくりを進めます。	⑤　年少人口比率の高い地域性を背景として、多くの人が地域の文化に触れ親しみ、スポーツに取り組む環境づくりを支援することで、子どもたちの心身の健やかな成長を図ります。また、農作業等の就労体験活動などを通じたキャリア形成支援等に取り組みながら、地域住民やNPO、学校、行政などが一体となって、地域の将来を支える人材育成に努めます。	◆子ども達に体験学習、就労体験等の場を広く提供するため、地域教材として産業、文化、伝統等の情報提供。	◆森林環境学習や農業体験等の取組み支援を行っていく。
	⑥　質の高い生産活動を担うことができる産業人を確保するため、大学など高等教育機関や市町村、民間の産業支援組織などと連携し、管内における産業人養成のための高等教育のあり方について検討しながら技術指導講座などによる人材育成を図ります。	◆時代の変化に対応できるより高い技術を備えた人材の育成。 ◆地域医療の担い手確保。 ◆地域農業の即戦力となる人材の育成。	◆技術の高度化、多様化等の企業ニーズに対応した人材育成を図る。 ◆県立医科大学等と協力、連携しながら、医学部生の体験研修への参加と、医師の地域医療への定着促進を図り、地域の良さのＰＲに努める。 ◆農業短期大学校の機能強化を図るとともに、産業サポート白河、大学、ハイテクプラザ等と連携した人材育成に取り組む。
広域連携による地域内外との交流の促進 市町村、民間団体、さらにはFIT圏域を含めた隣接地域などとの一層の連携により、広域観光や体験型観光の促進、定住・二地域居住の推進を図ります。	⑦　国道289号甲子道路や、平成22年度に全線開通するあぶくま高原道路による交流拡大を踏まえ、地域一体となった観光交流を推進するとともに、南会津地域・いわき地域、さらにはFIT構想に取り組む隣県市町村と相互に連携しながら、イベントの開催や地域における体験交流の場の拡大、魅力あふれる回遊ルートの創造などにより、一層の交流拡大を図ります。	◆通過観光客の取り込み。 ◆旅行エージェント等による魅力ある回遊ルートの創造。	◆行政、観光関係者等が一体となって取り組むためのネットワーク構築の推進を図りながら地域内外の交流拡大に積極的に取り組むとともに、旅行業者等との連携による受入拡大を目指す。 ◆ＦＩＴ構想主要プロジェクトや大型観光キャンペーンの積極的な事業展開を図る。
	⑧　官民一体となった推進体制を整備しながら、首都圏に隣接する地域特性を十分生かした定住・二地域居住を推進します。	◆定住・二地域居住希望者ニーズ把握、移住者等への支援の継続。	◆物件情報、移住者情報等の的確な把握に努めるとともに、移住希望者等のニーズに的確に対応するなどの地道な取組みにより、着実に定住・二地域居住推進を図る。
	⑨　白河の関や南湖公園を始めとした歴史的文化資源や地域住民の手による文化芸術活動など、県南地域に息づく文化の魅力を、文化財センター白河館の活用や関係機関などとの連携を進めながら、全国に発信します。	◆歴史的遺産や伝統文化、行事、地域の産品など地域資源の活用と情報発信。	◆豊富な地域資源を効果的に活用し、交流促進に向けた広報活動を積極的に行う。

【県南地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
自然にあふれ人々がいきいきと心豊かに暮らせる源流の里づくり 自然環境の保全や社会基盤の整備により人に優しく住みやすい環境を整えながら、住民誰もが明るく元気な、魅力あふれる地域づくりを目指します。	⑩　阿武隈川、久慈川などの源流域や南湖において、隣接県を含めた関係市町村や環境保全団体と連携しながら、子どもたちの環境学習やもりの案内人活動、清流の保全や水環境の改善など、流域住民と一体となった活動を進めます。	◆美しい水環境の保全に対する県民一人ひとりの意識の高揚。	◆環境保全団体等との連携を図りながら、生活排水対策をはじめとする美しい水環境の保全に向けた啓発を実施し、住民と一体となった取組みを推進する。
	⑪　源流の里にふさわしい自然環境を次代につなぐため、豊かな森林（もり）づくりによる水源林の保全や、水源域河川の整備を進めます。	◆産業廃棄物の不法投棄事件の解決に至るまでの長期化。	◆産業廃棄物の不法投棄を未然に防止するための総合的な対策を推進する。
	⑫　年少人口比率の高い地域がある一方で、高齢化が進んでいる地域もあることから、ユニバーサルデザインの視点に立った生活道路や歩道などの計画的整備、良質な地域医療の提供などにより、一人ひとりに優しく誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます。	◆医療機関の医療安全に関する認識の共通化、研修の機会確保。 ◆全ての人が安全に安心して利用できる歩行空間の整備。 ◆住民の生活に不可欠な公共交通の維持・確保及び交通施設の利便性の向上。	◆医療機関のネットワーク化及び自主的な取組みにより、職員の資質、医療安全意識の向上を図り、安全・安心な医療を提供する。 ◆ユニバーサルデザインの理念の浸透を図るとともに、交通安全施設等を計画的に整備し、人にやさしく、安全に安心して暮らせる道づくりを進める。 ◆公共交通の維持・確保、利便性向上のための市町村等への支援及び公共交通事業者への働きかけを行う。
	⑬　特に過疎化が進む地域において、住民自らが取り組む地域コミュニティの活動を支援するとともに、地域の自立的発展を目的としたコミュニティビジネスの普及に努めます。	◆若年層の減少と高齢化の進行などによる集落機能等の低下。	◆コミュニティの維持・再生のため、過疎地域活性化に結びつく活動や活動の実施主体となる人材育成、コミュニティビジネス創出等について支援を行う。